

「変化をチャンスに！国民要求の先頭に立つ 2010 春闘へ」

2010. 1. 30

岡山・労金ビル

1. 「変化をチャンスに」生かす 2010 年国民春闘

(1) 激変する国際、国内情勢のなかで迎えた春闘

① 「経済危機」以降の資本主義の行き詰まり

◇ 「ワシントン・コンセンサス」批判、G20 中心とした新しい国際経済秩序づくり

② 民主党政権下ではじめての春闘

◇ 自公政権の終焉と政権交代

(2) 連合、日本経団連の春闘戦略

① JC 春闘の崩壊で個別共闘による春闘展開へ

◇ 古賀新体制ではじめての春闘—日本経団連・連合トップ会談で拍手？

◇ 下請単価たたき、労働者への賃下げの一方で、大企業の内部留保は倍増

② 財界・大企業の春闘戦略は—「経労委報告」の特徴

(3) 全労連、春闘共闘の春闘方針の特徴—3つの重点課題と一つの共同

① 職場・地域から解雇、失業に反対し、「雇用守れ、仕事よこせ」の運動

○ 安定した雇用の確保、中小支援、公契約条例制定のとりくみ

② 生活改善となる賃上げをめざし、統一闘争の強化

○ 「誰でも 1 万円、時間額 100 円以上、最低賃金 1000 円以上」の実現

○ 改正労基法、改正育児介護休業法等の労働協約締結のとりくみ

③ 労働者派遣法の抜本改正や社会保障制度の改善のとりくみ

④ 「核兵器廃絶」をはじめ平和と憲法を守る共同のとりくみでの共同推進

◇「春闘共闘」結成から20年目の春闘

2. 組織拡大・強化のとりくみについて

(1) 労働組合基礎調査結果の特徴ととりくみ

(2) 今後の日本の労働組合の現状はどうなっていくのか

◇生産年齢人口の減少と企業内労働組合の衰退

◇「地域」が新たな組織化の発信基地に

◇期待の高まりと組織拡大前進への展望—大学生の労働組合間調査

○最後に

以上